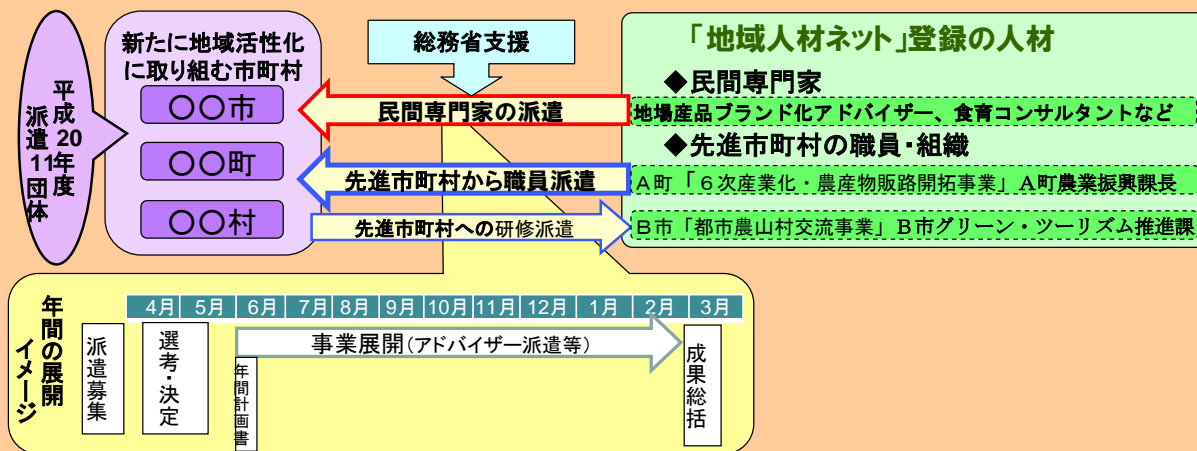


平成20年度 地域人材力活性化事業調査報告書の概要

～「地域力創造アドバイザー事業」と「地域力創造セミナー」の実施による地域人材力の創造・向上～

■地域力創造アドバイザー事業の概要

- ◆ 総務省の「地域人材ネット」に登録された専門家等を、「地域力創造アドバイザー」として派遣して、その取組を支援
- ◆ 対象は、新たに地域独自の魅力や価値の向上に取り組むことで地域力を高めようとする意欲ある市町村で、地域活性化の取組に関する実務知識・ノウハウを有する人材の派遣等を希望し、選定されたもの
- ◆ 平成20年度は、**11の団体を選定**し、平成20年6月から平成21年2月までの期間、派遣
(総務省は、アドバイザーの派遣等に係る旅費、謝金などを限度額の範囲内において支出)



地域人材ネット

- 市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与することを目的として、各地で地域活性化に活躍している人材を登録したデータベース
- 平成20年度は、民間専門家(64名)に加えて、先進市町村で活躍している職員(35名(組織を含む))の計99名を登録。市町村等からの相談や要請に応じて、登録人材の紹介等を実施(登録者リストは総務省ホームページに掲載)
- 今後、適宜登録内容の更新を予定

■平成20年度の対象市町村とその取組概要

平成20年度は、以下の11の対象市町村において、地域の課題に応じたアドバイザー活動を展開。

市町村名	地域力創造アドバイザー (敬称略)	事業形態	取組テーマ	本年度のアドバイザー活動の概要
白糠町 (北海道)	日垣 敏之 (株)ANA総合研究所 主席研究員	民間専門家 (現地指導型)	しらぬかブランド創造に向けた実践的人材育成	地域資源の調査から販路開拓、商品開発まで、担当職員がアドバイザーと行動を共にすることで、地域ブランド創造に向けた実践的な人材を育成。
青森市 (青森県)	長崎市文化観光部さるく観光課	先進市町村の組織 (現地指導型)	まちなか散策コース、観光ガイドの整備	先進市町村職員からの、現場と市民を巻き込んだ実践的アドバイスにより、まちなか観光の戦略的な計画づくりが進展。今後の地域間交流への発展も期待。
常陸太田市 (茨城県)	金丸 弘美 (食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー)	民間専門家 (現地指導型)	地産地消の推進と地域ブランドの創出	アドバイザーの仕掛・ノウハウをもとに、徹底した地域資源の掘り起こし・見つめ直しとその効果的な公開・PRを展開。これにより地域産品のクオリティと共に地域人材の意識・理解力・説明力も向上。
香取市 (千葉県)	加藤 文男 (南房総市企画部 戦略プロジェクト推進部長)	先進市町村の職員 (現地指導型)	出荷者協議会の設立と都市農村交流の推進	アドバイザーの多様なネットワークを活かした多彩な人材からのアドバイスにより、直売所運営に向けた幅広いノウハウを習得。
北杜市 (山梨県)	小浜市食のまちづくり課	先進市町村の組織 (現地指導型、派遣研修型併用)	食育専門員構築による地産地消推進	対象市町村職員が先進市町村に滞在して研修することで、小浜市の事業の仕組みや展開を幅広く実感・体感しながら食育・地産地消等のノウハウやポイントを吸収。今後の地域間交流・食の交流発展にも期待。
京丹後市 (京都府)	高野 誠鮮 (羽咋市1.5次産業振興室 総括主幹)	先進市町村の職員 (現地指導型)	宇川流域地域資源活用化	中山間地域の集落活性化をテーマとした、地域の主体的、実践的な取組の促進を重視したアドバイスにより、地域の行動力と発信力が向上。
紀の川市 (和歌山県)	中島 淳 (株)カルチャーアットフォーシーズ 代表取締役	民間専門家 (現地指導型)	紀の川ブランド創出	地域ブランド創出に向けて、まずは地域ブランドの発信拠点と具体的な目標設定、実施体制の構築等を進めて取組方向を明確化。これにより次年度以降の具体的な活動方針とプロジェクトを設定。
竹原市 (広島県)	中澤 さかな (道の駅「萩しーまーと」 駅長)	民間専門家 (現地指導型)	道の駅整備と地域の特産品開発	道の駅の整備・開業・運営に関する実践的アドバイスにより、地域アイデンティティを意識した「地域の」道の駅としての具体的な方向性が明確化。
小値賀町 (長崎県)	アレックス・カー (株)庵 取締役会長	民間専門家 (現地指導型)	大人の体験滞在型観光まちづくりの推進	外部の視点から、地域の資源・魅力を深く掘り起こすとともに、それを活かした観光まちづくり事業の具体化を推進。
霧島市 (鹿児島県)	養父 信夫 (株)マインドシェア 「九州のムラへ行こう」編集長	民間専門家 (現地指導型)	おじゃんせ霧島推進プロジェクトの推進	移住促進のポイントとして「地域の魅力の発信」に着目し、地域の魅力の掘り起こしとPR方法を中心としたアドバイスを実施。事業後半のモニターツアーによってその効果・課題を検証して次年度以降の展開に反映。
北大東村 (沖縄県)	白仁 昇 (フロンティアPR(株) 代表取締役)	民間専門家 (現地指導型)	うふあがり島活性化	「絶海の孤島」の産業振興に向け、まずは島の認知度向上にむけたPRを展開。各分野の専門家等の訪問と意見交換を通じて島の現状の理解を深めたことにより、島の「応援団」となる多彩なネットワークを構築。

■各対象市町村においてみられた特徴的な成果

<京都府京丹後市>

・メディア戦略により、集落活性化に繋がる産品販売、移住希望者獲得が進展



<山梨県北杜市>

・子供への「食の大切さ」の効果的な伝え方を習得



<北海道白糠町>

・特産品販売促進の具体的なスキル・ノウハウを習得



<青森県青森市>

・外からの視点で青森らしいまちなか散策コースとサイン計画を策定

<広島県竹原市>

・地域らしさのある道の駅の基本設計と運営コンセプトが連動

<長崎県小値賀町>

・大人の滞在観光の拠点となる空き古民家の改修事業計画を策定

<鹿児島県霧島市>

・外からの視点を踏まえた地域資源の魅力発掘方法と発信方法を習得



<和歌山県紀の川市>

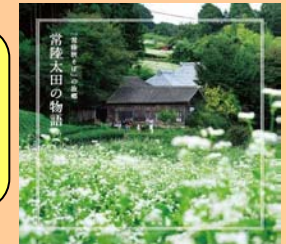
・地域ブランド創出拠点施設の確立と、施設運営スタッフ全員のモチベーション向上

<沖縄県北大東村>

・島外の有識者等による応援団の結成と東京でのシンポジウム開催等により、島の認知度が向上

<茨城県常陸太田市>

・食をメインとした地域資源の積極的なPR展開により、広告費換算約2500万円の効果



<千葉県香取市>

・地域を巻き込んだ道の駅の運営方針確立と同一県内の道の駅との連携



■平成20年度の地域力創造アドバイザー事業による成果

- 平成20年度は、11の対象市町村にアドバイザーを派遣した結果、各団体とも、主に以下のような成果を獲得

「地域が取り組むプロジェクト・事業の進展」

「外部とのネットワークの構築」

「地域の人材のノウハウ・モチベーションの向上」

「積極的な情報発信・PRの展開」

今後の地域力
創造に向けて

- 地域の「人材力」に加えて「資源力」も向上し、「地域力創造」のひとつのモデルになった
- 地域活性化における「ソフト事業の重要性・効果性」を確認することができた

■平成20年度地域力創造セミナー

- 地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点の重要性の高まり

- 活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催
- 平成20年度は、東京、栃木、京都、福岡において計4回開催し、延べ315名の地方公共団体職員が参加

地域力創造セミナーのコンセプト

- 国・地方を通じた厳しい財政状況
- 人口減少社会の到来、地方分権改革の進展など

地域の様々な主体が、地域としての魅力や価値を向上させる力＝地域力を新しく創っていくことが重要に

地方公共団体が主体的に展開する
施策を支援

国

セミナー

地域力創造のノウハウ蓄積 意欲の喚起